

支部便り

東海支部平成27年度第一回講演会開催報告 A report of annual meeting (first seminar in FY2015) by Tokai Branch, Japan Institute of Light Metals

小橋 眞*
Makoto KOBASHI*

「軽金属の組織制御による高性能化・高機能化」と題して、平成27年4月28日(火)15:15~16:45に東海支部平成27年度第一回講演会(場所:名古屋大学ES総合館ESホール)を開催した。なお、日本塑性加工学会東海支部、日本金属学会・日本鉄鋼協会東海支部にご協賛いただいたので、この誌面をお借りして御礼申し上げる。この講演会は、例年、東海支部総会に引き続き開催しているため、参加者も多く、盛況な講演会である。本年度も、講演会には88名の参加者があった。参加者の内訳を図1に示す。講演会には、学生も含めると産学がちょうど、半分ずつとなるような人数であった。

本年度の講演会は、組織制御を通じた軽金属材料の高性能化に関して先進的な研究を進めている先生方のご講演を拝聴するという趣旨で、九州大学教授 堀田善治氏と豊橋技術科学大学教授 三浦博己氏に講師をお願いした。三浦先生からは、「高強度MDFマグネシウムの組織と特性」というタイトルで、マグネシウムの組織と特性について、メカニズムから

詳しくご説明いただいた(図2)。また、スライドに自作の自転車部品などが登場するなど、大変、和やかな雰囲気でご講演いただき、30名以上参加した学生にとっても、組織制御の魅力が味わえたと感じた。次に、九州大学から堀田先生にお越しいただき、「巨大ひずみ加工による軽金属合金の微細組織制御と高性能化」というタイトルでご講演いただいた(図3)。大型設備のご紹介など、今後の産業利用が期待できる内容で、会場からもこの研究分野の着実な進歩に対する感想が聞かれた(図4)。

今回、図1に示すように懇親会まで参加される参加者人数は35名であった。講師の堀田先生、三浦先生にもお付き合いいただき、和やかな雰囲気の中で、より深い議論をすることができた。講師の先生方、参加の皆様にご感謝申し上げますとともに、今後も、皆様の積極的なご参加を期待している。

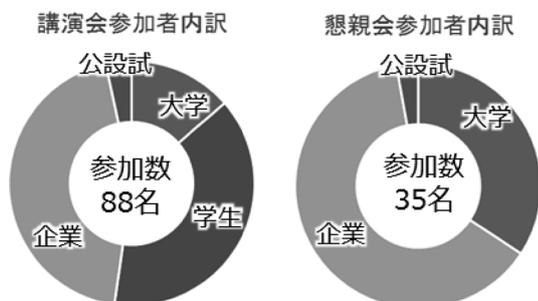


図1 講演会および懇親会の参加者人数内訳



図3 大型部材の強ひずみ加工を可能にする設備などをご紹介いただいた九州大学 堀田教授



図2 開発マグネシウム合金を用いた自転車パーツなどをご紹介いただいた豊橋技術科学大学 三浦教授



図4 熱心な質疑応答が繰り返された会場の雰囲気

*東海支部理事, 名古屋大学大学院工学研究科 (〒464-8603 名古屋市千種区不老町1) E-mail: kobashi@numse.nagoya-u.ac.jp
受付日: 平成27年6月3日